

都城工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	基礎数学 I	
科目基礎情報							
科目番号	0003		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 4		
開設学科	建築学科		対象学年		1		
開設期	通年		週時間数		4		
教科書/教材	新基礎数学, 新基礎数学問題集 (大日本図書)						
担当教員	本田 淳史						
到達目標							
(1) 文字式の展開, 因数分解, 分数式の計算が正確にできる. (2) 二次方程式をはじめとする方程式, 不等式を解くことができる. (3) 二次関数, 分数関数. ベキ関数, 無理関数を理解し, グラフをかくことができる. (4) 指数・対数の計算ができ, 指数関数・対数関数のグラフをかくことができる. (5) 直線・円などの図形を方程式として理解し, それらの問題を解くことができる.							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	文字式の展開, 因数分解, 分数式の計算が正確にでき, 応用問題を解くことができる.		文字式の展開, 因数分解, 分数式の計算が正確にできる.		一部の文字式の展開, 因数分解, 分数式の計算ができる.		
評価項目2	二次方程式をはじめとする方程式, 不等式を解くことができ, 応用問題を解くことができる.		二次方程式をはじめとする方程式, 不等式を解くことができる.		二次方程式をはじめとする方程式, 不等式を一部解くことができる.		
評価項目3	二次関数, 分数関数. ベキ関数, 無理関数を理解し, グラフをかくことができる. その応用で発展問題を解くことができる.		二次関数, 分数関数. ベキ関数, 無理関数を理解し, グラフをかくことができる.		二次関数, 分数関数. ベキ関数, 無理関数を一部理解し, グラフをかくことができる.		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育目標・サブ目標との対応 2-1							
教育方法等							
概要	中学で学んだ数学の内容を受けて, その考え方や計算技能の習熟につとめながら, 上学年における数学講義や専門科目において必要とされる方程式, 関数の基本概念や簡単な図形の方程式に関して理解を深め, 事象を数学的に処理する能力を深める.						
授業の進め方・方法							
注意点	実力試験の結果も学年末最終成績に加味する. 長期休暇課題は必ず提出すること. 定期試験・実力試験は全学科共通試験で実施する. 問題集は各自授業に平行して行うこと.						
ポートフォリオ							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	1.(1) 整式の加法, 減法, 乗法		文字式の計算を素早く正確にできる.		
		2週	(2) 因数分解		因数分解の計算を素早く正確にできる.		
		3週	(3) 整式の除法, 因数定理, 組み立て除法		整式の除法と剰余の定理等を理解する.		
		4週	2.(1) 分数式の計算		分数式の計算を素早く正確にできる.		
		5週	(2) 実数, 平方根, 複素数		実数と複素数の基本的性質を理解する.		
		6週	3.(1) 2次方程式と解と係数の関係		解の公式と解と係数の関係を使いこなせる.		
		7週	前期中間試験				
		8週	3.(2) いろいろな方程式		いろいろな方程式が解ける.		
	2ndQ	9週	(3) 恒等式と等式の証明		恒等式の扱いと等式の証明が出来る.		
		10週	4.(1) 不等式の性質と不等式の解法 (2次不等式は2次関数の応用として扱い, 高次不等式は省略)		不等号の記号の理解と1次不等式が解ける.		
		11週	(2) 不等式の証明		不等式の証明ができる.		
		12週	(3) 集合と命題 (時間が押した場合は省略)		集合記号, 命題の真偽, 必要・十分条件を理解する.		
		13週	5.(1) 関数のグラフと2次関数のグラフ		2次関数のグラフが描ける.		
		14週	(2) 2次関数の最大, 最小		2次関数の最大値, 最小値を求められる.		
		15週	5.(3) 2次関数と2次方程式, 2次不等式		2次方程式, 不等式への応用を理解する.		
		16週					
後期	3rdQ	1週	6.(1) ベキ関数		偶関数, 奇関数を理解する.		
		2週	(2) 分数関数		分数関数のグラフが描ける.		
		3週	(3) 無理関数		無理関数のグラフが描ける.		
		4週	(4) 逆関数		逆関数が求められる.		
		5週	7.(1) 累乗根と指数の拡張		累乗根や指数の計算を素早く正確にできる.		
		6週	(2) 指数関数		指数関数の性質を理解する.		
		7週	8.(1) 対数		対数の計算を素早く正確にできる.		
		8週	後期中間試験				
	4thQ	9週	8.(2) 対数関数		対数関数の性質を理解する.		
		10週	(3) 常用対数		常用対数による応用問題ができる.		

	11週	9.(1) 2点間の距離と内分点	2点間の距離と内分点の座標を求められる。
	12週	(2) 直線の方程式と2直線の関係	直線の方程式を自在に扱える。
	13週	10.(1) 円の方程式	円の方程式が自在に扱えるようになる。
	14週	(2) 楕円, 双曲線, 放物線の方程式	2次曲線の方程式から曲線のグラフを描ける。
	15週	(3) 2次曲線の接線	2次曲線のと直線の関係を式で記述できる。
	16週	(4) 不等式と領域	不等式の表す領域を図示できる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	20	100
知識の基本的な理解	60	0	0	0	0	10	70
思考・推論・創造への適応力	20	0	0	0	0	5	25
態度・志向性(人間力)	0	0	0	0	0	5	5